

公益財団法人いばらき文化振興財団

[法人の概要]

平成28年7月1日現在

代表者名	理事長 安藤 博 昭(常勤)	県所管部課	生活環境部生活文化課	
所在地	水戸市千波町後川745	電話番号	029-305-0161	
ホームページURL	http://www.icf4717.or.jp	E-mailアドレス	icf-ga3@icf4717.or.jp	
資本金(基本財産)	30,000	千円	設立年月日	平成4年7月17日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	30,000	100.0%
	2			
	3			
	4			
	5			
その他				
設立目的	<p>各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的として平成4年に設立された。</p> <p>平成11年からは、茨城県文化福祉事業団の文化部門を継承し、文化芸術に接する機会の提供、県民文化センターの管理運営及びアクアワールド茨城県大洗水族館の運営を行っている。</p>			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	平成25年度	平成26年度	平成27年度	内 容		
事業1 大洗水族館事業(公2)	1,317,478	1,524,303	1,617,542	大洗水族館については、「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」を基本テーマとし、地域の自然と世界の水生生物の生態を通して、生物の多様性や自然環境・地球環境について楽しみながら学ぶという教育と娯楽性を兼ね備えるとともに、「展示」、「普及」、「研究」の3つの機能が相互に連動する魅力ある海の総合ミュージアム施設として運営する。		
	全体事業に占める割合	53.7%	55.5%			57.2%
事業2 大洗水族館売店事業(収2)	605,853	653,261	646,267	多くの人が来場する大洗水族館の利用者への利便提供のため、物販・軽食部門の運営を行う。		
	全体事業に占める割合	24.7%	23.8%			22.8%
事業3 文化振興事業(公1)	420,128	449,052	448,087	個性豊かな県民文化の振興を目的として、文化芸術活動への助成及び文化芸術に接する機会の提供を行うため幅広いジャンルの公演事業を実施する。また、県の文化芸術振興の拠点施設である県民文化センターの指定管理者として、運営・施設の維持管理・使用の承認等を行うとともに、利用者への利便とサービスを図る。		
	全体事業に占める割合	17.1%	16.4%			15.8%
その他事業	事業1~3以外	111,596	119,289	118,111	県民文化センター利用者の利便施設としてグリル・売店・駐車場の運営を行う。 財団全体の運営について、関係機関と連携を図りながら進行管理を行うとともに、評議員会・理事会を開催するなど法人運営に必要な事業等を実施する。	
	全体事業に占める割合	4.5%	4.3%	4.2%		
全体事業	2,455,055	2,745,905	2,830,007	指定管理者	○	
全体割合	100.0%	100.0%	100.0%			

＜ 公益財団法人いばらき文化振興財団 から県民のみなさまへ ＞

いばらき文化振興財団は、各種文化振興事業を行うことで、個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的とする公益財団法人です。良質な舞台芸術公演の提供、文化活動団体等への支援・県民の文化活動の拠点施設としての「県民文化センター」の管理運営、茨城の海と自然・世界の海と地球環境を基本テーマとした「大洗水族館」の運営を行い、県民の皆様へ良質な文化をお届けし、また、魅力ある施設づくりを目指しております。

文化振興事業では、芸術性の高い歌舞伎・オペラ等厳選した公演をはじめ様々な舞台芸術を提供するとともに、文化芸術体験出前講座等の普及事業を行い、本県の芸術文化の振興に努めています。

県民文化センターでは、指定管理者として今まで以上に施設の安全性・利便性の向上、各種情報の積極的な提供等に努め、利用される施設を目指しています。

大洗水族館では、魅力ある企画展の開催や、国内で初めて繁殖に成功したホーンシャーク・飼育期間の日本記録更新中であるイモリザメの展示など展示の充実を図り、海の総合ミュージアムとしての機能を十分発揮できるよう努めています。

なお、平成28年度は県民文化センターが開館50周年、大洗水族館が開館15周年を迎えましたが、これもひとえに県民の皆様のご愛顧の賜物と心から感謝しております。今後も、文化振興事業の一層の充実を図るとともに、県民文化センターと大洗水族館が多くの県民の皆様にご利用いただけますよう、施設の安全管理と積極的な事業展開に努めます。職員一同、皆様のお越しを心からお待ちしております。

平成29年2月 理事長 安藤 博昭

[経営状況] 公益財団法人いばらき文化振興財団(単位:千円)

区分		平成25年度	平成26年度	平成27年度	増減数	増減理由
正味財産増減計算書	経常収益	2,544,728	2,616,706	2,641,946	25,240	
	基本財産運用益	510	510	510	0	
	事業収益	2,370,380	2,521,800	2,556,345	34,545	自主公演・水族館入場料収入の増
	受取補助金等	52,421	61,447	55,759	△ 5,688	人事異動に伴う人件費の減
	その他収益	121,417	32,949	29,332	△ 3,617	
	経常費用	2,455,055	2,745,905	2,830,007	84,102	
	事業費	2,445,774	2,734,904	2,818,825	83,921	修繕工事負担金・委託料の増
	管理費	9,281	11,001	11,182	181	
	うち役員人件費	13,257	14,591	15,218	627	
	うち職員人件費	711,015	758,715	764,760	6,045	
	評価損益等	0	0	0	0	
	経常増減額	89,673	△ 129,199	△ 188,061	△ 58,862	
	経常外収益	8,690	2,715	8,302	5,587	他会計振替額の増
	経常外費用	457	202	353	151	
経常外増減額	8,233	2,513	7,949	5,436		
法人税・住民税・事業税	142	1,879	245	△ 1,634	法人税等納付額の減	
一般正味財産増減額	97,764	△ 128,565	△ 180,357	△ 51,792		
指定正味財産増減額	△ 8,690	△ 2,715	△ 8,302	△ 5,587		
正味財産期末残高	2,574,106	2,442,826	2,254,167	△ 188,659		
貸借対照表	資産合計	3,612,531	3,412,772	3,131,114	△ 281,658	
	流動資産	448,343	541,118	541,236	118	
	固定資産	3,164,188	2,871,654	2,589,878	△ 281,776	退職給付引当資産・修繕積立資産の減
	負債合計	1,038,424	969,945	876,947	△ 92,998	
	流動負債	227,307	304,376	255,426	△ 48,950	年度末未払金計上額の減
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	811,117	665,569	621,521	△ 44,048	退職給付引当金の減
うち長期借入金	0	0	0	0		
正味財産合計	2,574,106	2,442,826	2,254,167	△ 188,659		
基本財産充当額	30,000	30,000	30,000	0		
県財政関与状況	補助金	51,921	58,747	55,359	△ 3,388	人事異動に伴う人件費の減
	委託料	229,741	238,928	235,457	△ 3,471	県博委託料の減(臨職へ切替による)
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	2,000	2,000	2,000	0	
	合計	283,662	299,675	292,816	△ 6,859	
	財政的関与の割合(%)	11.1%	11.4%	11.0%	△ 0.4	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
借入金残高(期末)	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	増減P	備考
公益目的事業比率	認定法第15条に定める率	72.3%	72.8%	74.6%	1.8	
管理費比率	管理費/経常費用	0.4%	0.4%	0.4%	△ 0.0	
人件費比率	人件費/経常費用	29.5%	28.2%	27.6%	△ 0.6	
自己収益比率	自己収益額/経常収益	96.0%	95.7%	96.0%	0.3	
流動比率	流動資産/流動負債	197.2%	177.8%	211.9%	34.1	
借入金比率	借入金残高/負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

7月1日現在の人数		平成26年		平成27年		平成28年		増減数	増減理由		
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB				
役員	常勤理事・監事	2	0	2	0	2	0	0			
	非常勤理事・監事	12	1	12	1	12	1	0			
	計	14	1	14	1	14	1	0			
職員	管理職	24	1	22	1	22	1	0			
	一般職	49	2	47	2	46	1	△ 1	自己都合退職者1名増による		
	嘱託・臨時職員等	98	0	98	0	95	0	△ 3	育休職員2名復帰等による		
	計	171	3	167	3	163	2	△ 4			
当期	プロパー職員平均勤続年数	18.0年	常勤職員(嘱託・臨時職員を除く)の年齢構成						平均年齢		常勤役員平均報酬(年額)
			~20代	30代	40代	50代	60代	合計	41.1歳	6,463.0千円	
										プロパー職員平均給与(年額)	
										5,977.7千円	

[評点集計]

公益財団法人いばらき文化振興財団

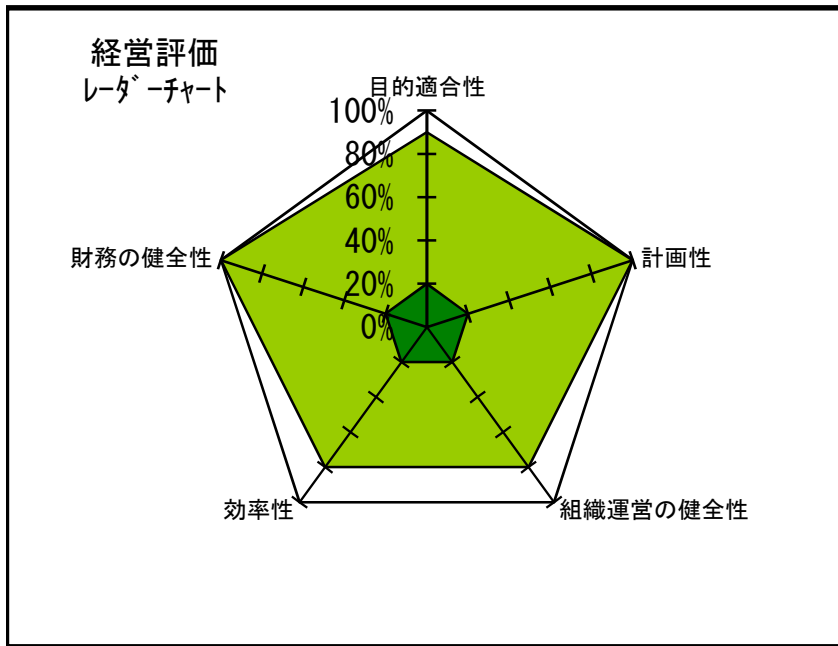
評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	9	18	20	90%
計画性	8	20	20	100%
組織運営健全性	10	16	20	80%
効率性	11	16	20	80%
財務健全性	9	17	17	100%
合計	47	87	97	90%

警戒指標

--

《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか



[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
個性豊かな県民文化の振興を図り国際性豊かな文化の県づくりに寄与するため文化振興事業、県民文化センター、大洗水族館の運営等を行っている。施設利用者と事業への参加者の状況から設立当初と同等以上の社会的要請があると考えられるので、今後も設立目的に沿った事業運営に努める。	文化センターの指定管理期間と整合性を取るため、平成28年度より新たに第4期中期経営計画(平成28年度～平成32年度)を策定し、事業別に目標を掲げている。また、財団全体の収支計画を掲げ、経営評価項目に沿った計画となっており、これらの目標達成に努める。	階層別基本研修や自己啓発研修などを実施し、人材育成、能力開発等に努めるほか、企業等OBを嘱託職員に登用し、専門分野の経験を活用することで、さらなる組織の活性化及び健全性に努める。	平成27年度は前年度に対し職員4名を減員し、嘱託職員等に対応することにより、人件費の抑制に努めた。 平成28年度は、人件費比率、管理費比率、補助金等依存度等について引き続き抑制に努める。	水族館の計画的な大規模修繕の実施により2期連続で赤字となっているが、特定費用準備資金等あらかじめ準備した積立資産で補填した。 今後も、修繕等に係る積立資産を確保する必要があることから、引き続き誘客促進に努め財源の確保に努める。
<p>財団予算の約80パーセントを占める水族館事業の運営が財団全体の運営に大きな影響を及ぼすため、いかに水族館の入場者を確保するかが課題となることから、展示の充実や季節毎のイベントの実施をはじめ、SNSやインターネット広告を利用した情報発信により利用年齢層の拡大を図るほか、県内大型イベントとの連携、重点広報地域の拡大などにより誘客促進に努める。</p> <p>県民文化センターについては、平成28年度からの5年間、第2期に続き指定管理者として運営することになったことから、その役割を踏まえ健全な管理運営に努めるとともに、老朽化が進む施設の危険箇所への修繕に積極的に取り組んでいく。</p> <p>文化振興事業については、県民の要望に沿った多種多様なジャンルの公演を実施しながら収支均衡に努める。</p> <p>なお、平成28年度は水族館が開館15周年、県民文化センターが開館50周年を迎えることから、開館記念イベント、記念公演等を実施し、周年記念事業を盛り上げていくとともに、新たに策定した第4期中期経営計画に沿った運営を行い、県民文化の振興、誘客促進を図り財団の長期的・安定的な経営に繋げていく。</p>				

[法人担当課の意見]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
文化芸術団体への助成をはじめ、文化芸術に接する機会の提供、水族館による「展示・普及・研究」の3つの機能の提供など、本県の文化振興に寄与する事業を推進している。	県民文化センターの指定管理期間に合わせて新たな中期経営計画を策定し、効率的な経営や自主財源の確保、計画的な施設整備等による利用者の利便性向上を図り、公益財団法人として健全で責任ある経営に努めている。	中期経営計画に基づく専門研修等を積極的に実施しているほか、財務情報のホームページでの公開をはじめ、経営に係るコンプライアンスを確立するため、法令遵守に関する要項及びガイドラインを制定するなど、適正に運営されている。	平成27年度は平成26年度に対して職員4名を減員し、嘱託職員などに対応することにより、人件費率について年々抑制が図られている。引き続き、職員の適正配置等に今後とも努めていくよう指導していく。	大洗水族館の入館者数及び県民文化センターの利用者数が目標を上回るとともに、水族館の大規模修繕を特定費用準備資金等のあらかじめ準備した積立資産で実施している。引き続き誘客促進による収入確保や経費節減など、効率的な運営に努めるよう指導していく。
<p>法人担当課の意見</p> <p>大洗水族館については、展示の充実、魅力あるイベントの開催や多様なメディアを活用した情報発信により入館者数の確保に努めている。また、県民文化センターについても、様々なジャンルの質の高い公演を実施し、多くの方に文化芸術に接する機会を提供するとともに、イルミネーションの実施により賑わいの創出などに取り組み、県民文化の振興に努めたことは評価できる。</p> <p>水族館の入館者数及び文化センターの利用者数については、中期経営計画に基づく目標値の達成に向け、引き続き、一層の誘客促進やサービス向上に努め、入館者数等の確保に取り組むとともに、効率的な運営を図り健全な運営が維持されるよう指導していく。</p>				

[経営目標]

区分	指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標値	H27実績	達成度(%)	H28目標値	
経営目標	事業成果	1 県民文化センター施設全体の利用率	%	83.0	82.1	83.0	80.2	96.6%	83.0
		2 水族館の入場者	千人	1,093	1,148	1,100	1,161	100.0%	1,132
	健全性	1 流動比率	%	197.2	177.8	180.0	211.9	100.0%	203.0
		2 自己資本比率	%	71.3	72.0	74.0	72.0	97.3%	72.0
	効率性	1 職員1人当たりの事業収入	千円	12,867	12,638	12,000	13,291	100.0%	12,500
		2							
平均目標達成度							98.8%		

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	大いに改善を要する	
総合的所見等	<p>水族館事業における修繕工事負担金の増により、当期経常増減額は△188百万円となっているものの、水族館事業については、総入場者数は増加し、文化振興事業については、施設利用者数は微減にとどまったことから、順調な運営が継続されている。</p> <p>水族館事業の修繕工事負担金357百万円は、特定資産の取崩等により手当てされており、財務の健全性は維持されている。</p> <p>一般正味財産からの充当により形成された多額の特定資産については、具体的な目的、必要額等を明確にし、より適切に取り扱われたい。</p> <p>県所管課は、当該法人が委託管理、指定管理等を受託し、安定的な財務運営が図られていることから、職員派遣の削減の検討や、運営費補助金の縮減等に取り組まれたい。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>水族館では魅力ある企画展や効果的な誘客促進策の展開などにより入場者数の確保に努め、また、県民文化センターでは利用者のサービス向上や閑散期における利用料金の割引制度の利用促進など利用者の確保に努めるとともに、併せて運営経費の節減にも取り組み、財団の運営の効率化が図られるよう指導していく。</p> <p>特定資産については、財団が具体的な目的及び運用基準等を明確にしながら運営管理を行っているが、計画的に施設・設備の改修などを行うとともに、財務状況を踏まえ、必要に応じ適正な対応を講じるよう指導していく。</p> <p>また、業務の円滑な実施に配慮したうえで、職員派遣の削減を検討するとともに、財団運営費補助については、財団が公益法人として広く県民に質の高い各種公演を低料金で提供し、県の文化行政の一翼を担う役割を果たしているため補助しているものであり、引き続き、経営の効率化を進めながら補助対象の点検などを行っていく。</p>				